



12月10日付  
申11号

# 懸念していた事象が発生! 早急の対応を求める!

## 2019年度冬期の取組みに対する再申し入れ

新潟地本は万全な冬期体制を構築することを目指し申6号において「2019年度冬期の取組みに対する申し入れ」を提出し会社側と団体交渉を行いました。毎年発生する架線凍結による輸送障害に対して架線塗油以外の対応を求め、特に信越本線柏崎～長岡駅間貨物列車運休時に初列車となる321M対策についてカッター代行の運転、1321Mのワンマン解除など組合側からも対応策を提案しましたが、会社回答は現行通りであり冬期体制前であっても十分対応出来るとの回答でした。

そのような中12月9日、当該区間や越後南線において架線凍結による運転難渋が発生し、懸念していた1321Mに大幅な列車遅延が発生しました。

申6号の議論を経た中で発生した事象であり労働組合として重く受け止めるとともに、今事象の再発防止に対する労使の早急な議論が必要であるとの認識から地本は申11号を提出しました。

### ■ 申11号 申し入れ項目 ■

1. 信越線長岡～柏崎間の架線凍結対策を講じると共に、初列車の前にカッター代行を運行すること。

# 東日本ユニオンに加入して職場で発生する問題を解決しよう!